

平成27年度 施策評価表

作成年月日：平成28年9月2日

課・グループ名	町立病院
---------	------

施策名	①ーa 地域医療の確保（診療体制の確保）	4-1-①ーa
-----	----------------------	---------

1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(1) 充実した医療環境の確立	①ーa 地域医療の確保（診療体制の確保）
①施策のねらいと展開方向	<p>●自治体病院等広域化・連携構想に基づき効率的な地域医療体制を図るため、札幌圏の医療機関を中心に病院相互の連携強化と機能分担を進め、また診療体制を確保するための医師派遣や地域医療が抱える諸課題を解決するために近隣医療機関との連携・協力体制を推進します。</p> <p>●町外医療機関、特に江別市立病院との医療連携により医師の派遣や入院・外来患者数の増加や職員の資質向上の研修会・学習会を推進します。また、今後も医科大学との連携を図り救急医療体制を確保します。</p> <p>●病院経営改善計画推進のため、中心となる経営会議とともに新たに経営改善委員会を組織し各部門と連携しながら改善計画を推進します。また、医療環境の安全を確保する各種委員会、救急医療体制の強化のための医師等と救急救命士との連携を図ります。</p> <p>●一次医療機関として救急医療も含めた医療機能を維持するため、医師をはじめ医療スタッフの確保に努めます。</p> <p>●町内の児童生徒の各種健診や各企業・事業所等の職員健診の増加と手軽に受けられる健診事業を始めとした予防医療を行い、町民の健診の増加を図るとともに、保健・福祉・国保等関係機関との連携を促進し、町民の健診や在宅医療のセンター的役割を担います。</p> <p>●地域医療連携室を中心に他の医療機関との適切な役割分担と連携を充実させるため、的確で迅速な情報交換等や医療相談等を進めるとともにサービス調整会議等による保健福祉関係機関との連携を進めます。</p>		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<p>●町内の医療機関は、国民健康保険町立南幌病院と民間医療法人の医院、歯科医院等があります。</p> <p>●札幌圏に接し、比較的近距离に総合病院、専門病院があるため、入院・外来ともに町内医療機関での受診者が減少傾向となっています。</p> <p>●診療科目は、町立病院では内科・外科・小児科（現在休診中）・眼科があり、民間医療法人の医院では内科、整形外科、リハビリテーション科、歯科があります。</p> <p>●医療機関の経営は、医療制度の改革や医療環境の変化などにより年々厳しくなっており、医師の確保についても困難な状況にあります。</p> <p>●札幌圏自治体病院等広域化・連携構想検討会議江別地区部会の構成員として、行動計画により協力・連携を進めるとともに、江別市立病院・町立南幌病院医療連携会議による医療連携を進めています。</p> <p>●病院経営改善計画にもつぎ、病院の体制の改革・患者数増加の取り組みを行っています。</p>	<p>●地域医療機関の確保については、江別市立病院等二次医療機関との連携体制や医科大学との連携を強化し、救急医療体制を含めた広域医療や診療体制の確保が必要です。</p> <p>●地域住民が安心して暮らせる医療環境を継続して提供するため、病院での医療の他、在宅医療などを進める病院体制の改革や患者ニーズに対応するための職員の資質向上を図ることが必要です。</p> <p>●町立病院は、国民健康保険直診病院として、また一次医療機関としての機能の充実と予防医療・在宅診療の促進に取り組む必要があります。</p> <p>●地域の病院として、病院経営の安定化を図るために更なる財政の健全化を図るとともに、町民から、より信頼される病院となるため、病院経営改善計画に基づいた取組みや数値目標を定め、病院の健全経営を推進することが必要です。</p>	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図	まちづくりの成果指標名		数値化
	<p>・地域の医療機関として、必要な医療機能が発揮されているか、また、患者や家族のニーズに対応した医療サービスが提供されているかなど、病院の経営診断において基本的な数値となるための指標として設定している。</p>	成果指標（総合計画・施策評価）		○ 可能
		A 町立病院 入院患者数（延べ）		不可能
		B 町立病院 外来患者数（延べ）		未計測
代替指標 ※成果指標がない場合		指標の設定		
				可能
				不可能

※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。

② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26			
A目標	人	16,425	16,425	16,790	16,425向上	17,012	前年度後半の入院患者減が、今年度当初より継続する結果となり、通年で入院患者の減少が大きくなった。介護施設等の増加により療養病棟の入院患者数が減少した。
A実績	人	14,234	15,272	14,445	12,292		
A達成率	%	86.7%	93.0%	86.0%	74.8%		
B目標	人	21,168	21,438	20,580	21,168向上	23,088	
B実績	人	21,171	17,250	18,289	17,998		
B達成率	%	100.0%	80.5%	88.9%	85.0%		

評価視点	評価結果		理由、課題・問題点
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)	施策の達成度	入院患者のうち一般病床は前年とほぼ同様の患者数となったが、療養病棟については、患者数が前年比23%の減少となり、全体としても目標を25%下回った。療養病棟の稼働率上昇が入院収益の大きな課題となる。外来は、ほぼ前年と同じではあったが、目標数値には届いていない。
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)		
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)		
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)		

